

口永良部島から得られたジムグリの記録

池 俊人¹・山口 正行²

A Record of Japanese Forest Ratsnake *Euprepiophis conspicillatus* (Squamata: Colubridae) from Kuchinoerabujima Island, Kagoshima Prefecture

Toshihito IKE¹ and Masayuki YAMAGUCHI²

口永良部島は、屋久島の西方約12kmにある火山島である。面積38.04km²、周囲49.67kmで、最高点は標高657mの古岳で、標高626mの新岳では現在も活発な火山活動が続いている。

口永良部島からの陸生ヘビ類の記録について、鮫島(1998)はシマヘビとアオダイショウの2種を報告した。その後、前之園・戸田(2007)が琉球列島の両生類と陸生爬虫類の分布について、鮫島ら(2014)が鹿児島県の陸生ヘビ類についての分布をまとめたが、ともに同島に分布する陸生ヘビはこの2種以外には報告されていない。しかし、最近になって神林

ら(2017)が同島からシロマダラを採集して報告したことで、同島に3種の陸生ヘビが分布することが、新たに判明したところである。



図1. 口永良部島から得られたジムグリ *Euprepiophis conspicillatus* の頭部



図2. 口永良部島から得られたジムグリ *Euprepiophis conspicillatus* の腹面

1 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町1-1

2 〒891-4208 鹿児島県屋久島町口永良部島357

今回、口永良部島から1個体のジムグリ *Euprepiophis conspicillatus* が採集された。このことで、同島に4種の陸生ヘビが分布することが確かめられたため、その記録について報告する。

ジムグリが採集されたのは、2018年8月3日午前10時頃、口永良部島本村の北側にある西の浜近くの道路上であった。同島の山口正行が生体1個体を発見して採集した後、山口英昌氏を通じて鹿児島県立博物館に送付された。鹿児島県立博物館に到着後に測定したところ、全長878mm、頭胴長729mm、体重148gであった。本個体は測定後に、70%エタノール液浸標本にした(標本番号RE01800002)。

図1、図2に見られるように、本個体は頸部のくびれがないことや、黒点が散在すること、腹部が一松模様になっていることなどの特徴が、関(2016)をはじめとする多数の文献の記載によく一致することから、ジムグリと同定した。

謝辞

資料の収集にあたって多大な協力をいただいた口永良部島の環境保護ボランティアグループ「えらぶ年寄り組」の山口英昌氏に、厚く感謝申し上げます。

引用文献

- 神林千晶・藤本将也・児玉敦也・綾田淳平・三好祥太・岡祐一郎・清水則雄・倉林敦(2017)口永良部島からのシロマダラの初記録, *Akamata* (27): 28-46.
- 前之園唯史・戸田守(2007)琉球列島における両生類および陸生爬虫類の分布, *Akamata* (18): 38-40.
- 鮫島正道(1988)口永良部島の両生類・爬虫類相. 鹿児島県の自然事業調査報告書V, 155-160. 鹿児島県立博物館.
- 鮫島正道・中村正二・中村麻理子(2014)鹿児島島の陸生ヘビ類の分布と生態, *Nature of Kagoshima* (40): 247-256.
- 関慎太郎(2016)野外観察のための日本産爬虫類図鑑. 緑書房, 東京.